

NICHIREKIの

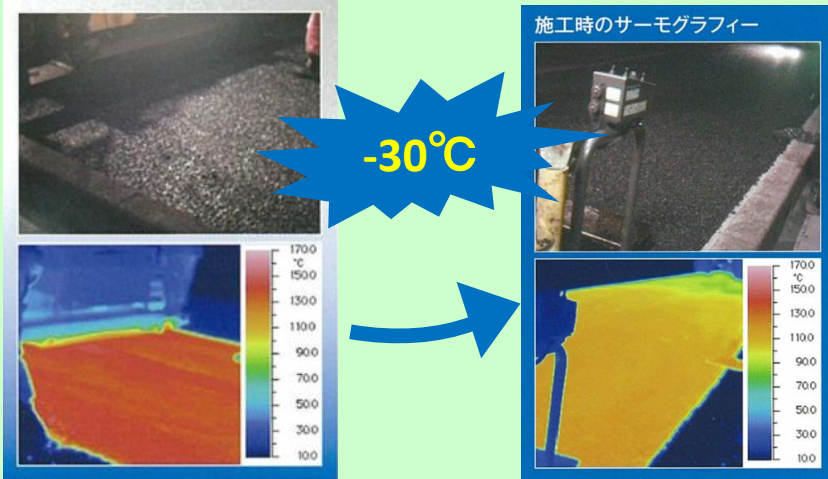
技術情報

technology information

クリーンファルト



ニチレキの中温化バインダであるクリーンファルトシリーズを使用した中温化合材では、アスファルト混合物の施工温度が通常より約30℃低くても、本来の締固め度が得られます。交通解放までの冷却時間を削減できるので、舗装の規制時間の短縮や、1日の施工面積を拡大する事ができます。



通常時(ストレートアスファルト施工時)
約150~140℃

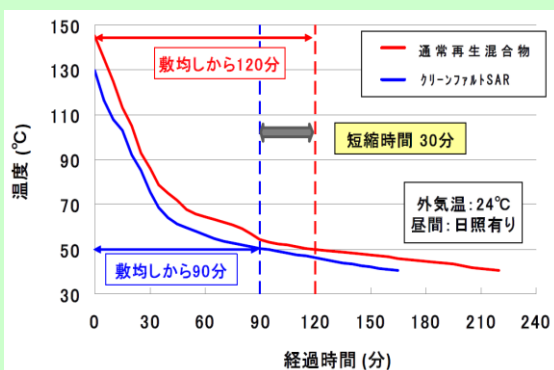
中温化合材施工時(クリーンファルトSA)
約120~110℃

合材温度を30℃低減しても締固め密度が得られるので、施工現場では様々な効果を発揮できます。舗装後に交通解放温度まで下がるまでの待機時間を削減でき、冬場や遠隔地への運搬の際の温度低下による廃棄合材の処分費用の削減、施工性改善や品質確保など、創意工夫として技術提案をしてみてもはいかがでしょうか。



クリーンファルトの特長

- ・混合物製造時・および締固め時の温度を約30℃低減できます。
- ・通常のアスファルト舗装の機械編成で施工できます。
- ・通常のアスファルトの品質規格を満足します。
- ・プレミックスタイプのため、合材製造時の手間を省略・均一で安定した性能を確保できます。
- ・寒冷期の施工性が改善されるため、品質確保に大きく貢献します。
- ・次工程までの養生時間を短縮できます。



アスコン1層施工の場合の試算例

クリーンファルトを使用した中温化合材では、施工温度を低くできます。合材温度を30℃低減することで左図の試算例のように転圧完了後のアスファルト混合物の交通解放前の舗装の冷却に要する養生時間を短縮できます。

(短縮時間は、概ねアスファルト混合物を5cm1層の場合で約30分、2層の場合で約1時間です。)

NICHIREKI
お問い合わせ、資料のご請求先

道路総合システムサービスを目指す”技術のニチレキ”

ニチレキ株式会社

022-388-8101

東北ニチレキ工事株式会社

022-285-1511

大崎営業所

0229-56-3211

山形支店

023-686-2025

ニチレキHP: <http://www.nichireki.co.jp/>

大崎営業所

0229-56-3211

東北ニチレキHP: <http://tohoku-nichireki.co.jp/>

岩手ニチレキHP: <http://www.iwatenichireki.com/>

クリーンファルトの 30°C低減で何が出来る？

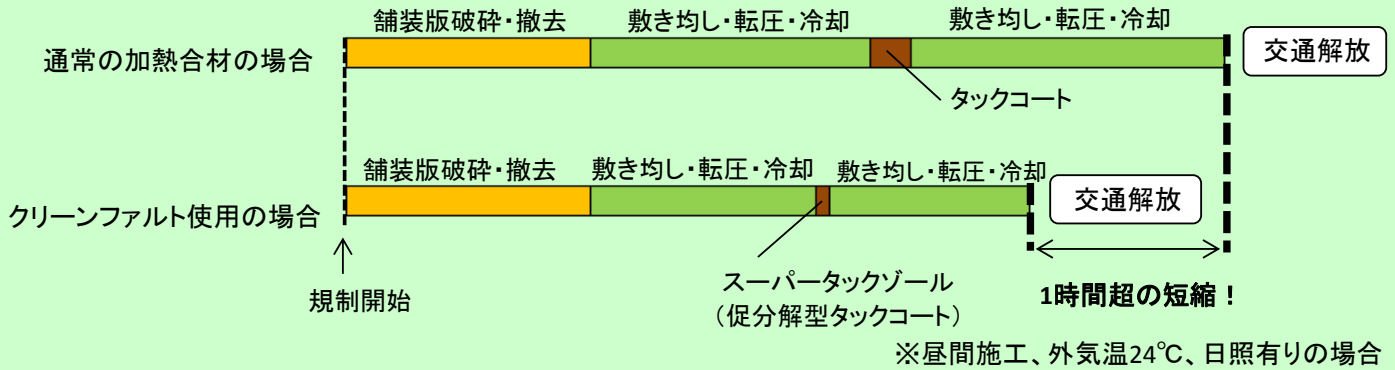
タックコートにニチレキのスーパータックゾールを使用すると、アスファルト乳剤の分解養生時間をさらに短縮することができます。



使用例1. 交通規制時間を短縮できます。

合材温度を約30°C低減させた状態での出荷であれば、転圧後に交通解放可能な温度まで養生する時間を短縮できます。規制時間の短縮や施工の効率化に繋がります。

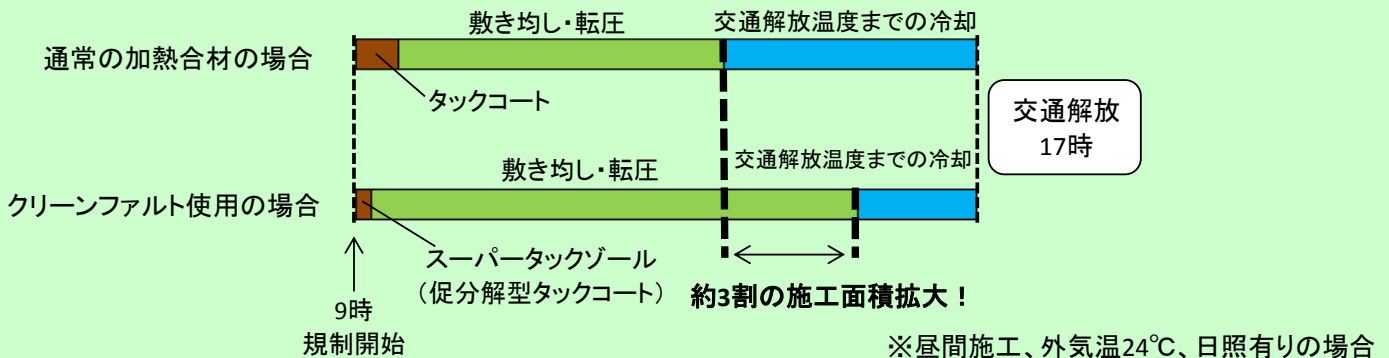
2層破碎、2層戻しの急速施工の場合・・・



使用例2. 1日あたりの施工面積を増やせます。

冷却時間を短くすることができるため、合材温度が約30°C低減した出荷であれば、1日の施工面積を約3割伸ばすことができます。

切削面に対し表層工1層のみ施工の場合・・・

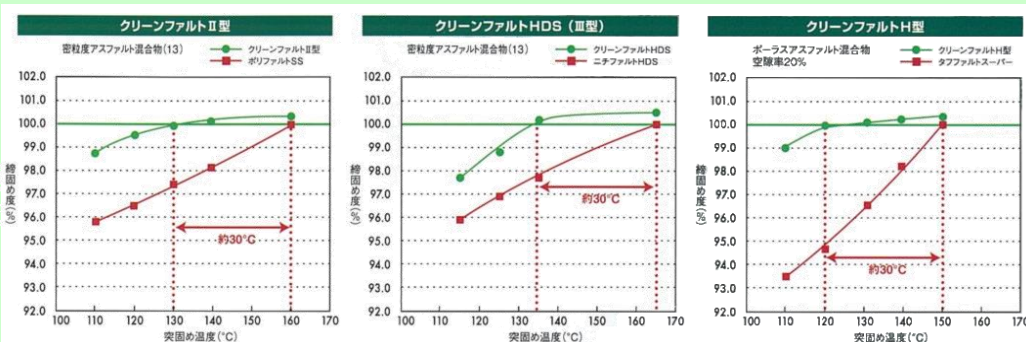


使用例3 遠隔地や冬季の舗装品質を確保できます。

通常の加熱合材と同じ温度での出荷であれば、約30°C低減しても作業性が良好のため、舗装の締固め密度を確保できます。運搬時の温度低下による合材ロス率を抑えられます。



冬季の品質確保での使用事例



冷却による合材ロスを抑えられます。

上記メニューのほか、ストアス相当品、再生骨材混入タイプや、50°C低減可能なタイプなど、各種取り揃えております。